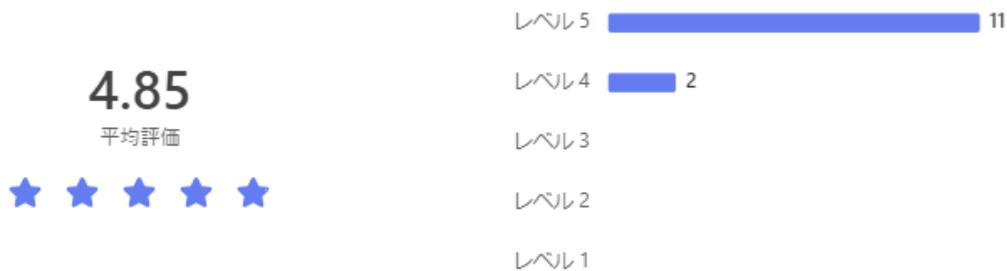


2024年12月2日

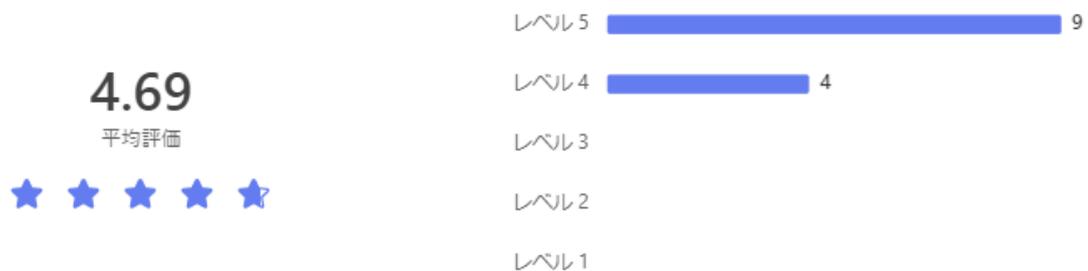
令和6年度 鹿児島県中学校国語教育研究大会大島大会 アンケートまとめ

研究推進部長 松元

(1) 本日の満足度についてお答えください。



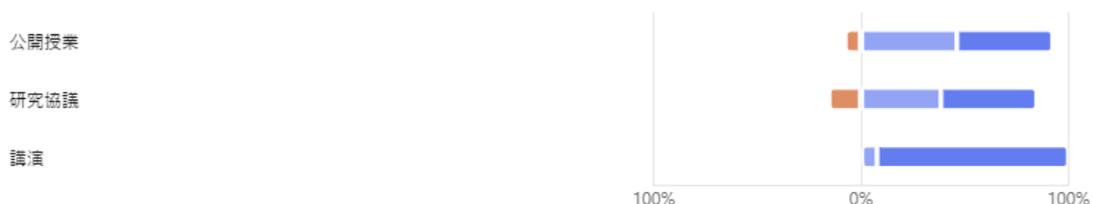
(2) ご自身の実践との関連性や今後の授業作りに役立つ部分がありましたか。



(3) 以下の項目について、今後の実践においてどの程度参考になりましたか？

1 = 参考にならなかった 4 = たいへん参考になった

● 参考にならなかった ● 参考になるところもあった ● 参考になった ● たいへん参考になった



(4) 公開授業に関して（ご意見 ご感想がありましたらお書きください）

- ① 要約指導についてはまだまだ研鑽が必要と思った
- ② 初任3年目の方が提供して下さったと聞き、びっくりした。ありがとうございました。
- ③ 自由進度学習の例として非常に参考になった。要約は、私も課題となる大きな指導テーマの一つなので、コース選択や学習形態など、自分の指導スタイルに取り入れていきたい。
- ④ とても勉強になりました。自分なりにこんなふうに取り組みたいと思うところがたくさんありました。
- ⑤ 生徒たちの意欲的な学びの様子を見せていただきました。ありがとうございました。
- ⑥ とても勉強になる部分、参考にさせていただくことが多かった。
- ⑦ 自由進度学習を取り入れている授業を初めて参観させていただきました。生徒が自分で選択して学習できることで、より積極的に取り組んでいるように感じられました。生徒主体だからこそ、武石先生が準備されていたようなワークシートやヒントコーナーのように入念な準備や工夫が必要であるともわかりました。
また、授業の導入から自分の意見に根拠を持つことを丁寧に説明され、活動の中でも「なぜ大切だと思ったの？」など根拠を説明させるような声かけをされており、根拠を持つことを意識させる指導が一貫されていたと感じました。自分の意見に根拠を持たせることは、私自身も意識させたいところだったので、とても参考になりました。
学力差が大きい学級も担当しているため、自由進度学習にも挑戦してみたいと思います。
お忙しい中、大変な準備・検討を重ね、このような貴重な授業を提供していただき、ありがとうございました。
- ⑧ 生徒は先生の短い指示でしっかり活動をしていました。先生との信頼関係ができてい
るからこそ成せることだと思います。
- ⑨ 明日からの授業の参考になることがたくさんありました。ありがとうございました。
- ⑩ 要約をコースごとに分かれてさまざまな方法でする試みがとてもよいと思いました。
ヒントコーナーなどこれまでの学習が見てわかりました。今後の参考にさせていただきます
きたいと思います。
- ⑪ 先生が最初に「根拠」について触れていたのがとてもよかったと思います。いろいろと
アイデアをいただきました。せっかくなので、これだけ深めた最後の自分の考えを新聞
投稿という発信につなげてほしいかと思いました。
- ⑫ 単元内自由進度学習を拝見して、率直に子供たちが熱心に取り組む姿に感心しました。
授業者が日頃から鍛えていらっしゃるがよくわかります。私は極小規模校に勤め
ていますが、生徒の人数に関わらずチャレンジしたいと思わせてくださいました。本当
にありがとうございました。

(5) 研究協議に関して（ご意見 ご感想がありましたらお書きください）

- ① 楽しく語り合えました。
- ② 若い先生方がよく勉強していると頼もしく思った
- ③ 自由進度学習は前例も少なく未知数で、多くの教員が恐怖心をもっているがゆえに、あまり有益な話し合いに発展しなかったのが心残りである。
- ④ 貴重な交流ができました。ありがとうございます。
- ⑤ 初対面の先生方とも、とても打ち解けた雰囲気での協議することができました。楽しかったです。
- ⑥ 他校の国語教員と情報共有したり、授業研究について協議したりすることができて、とても参考になりました。
- ⑦ 武石先生の授業を通して、自身の授業の進め方や声かけの仕方などを振り返りながら深めることができたように思います。また、離島だからこそ小規模校の先生方ともお話しすることができ、色々な視点から意見交換ができたように思います。
- ⑧ 折角の話し合いだったので、話し合った事柄の発表にも時間を割くべきだったと思います。そこが唯一の残念ポイントでした。
- ⑨ 初めてTASシートを使いましたが、話が盛り上がり、よかったです。高等学校の先生と情報交換もできてよかったです。
- ⑩ さまざまな意見をきくことができて勉強になりました。
- ⑪ すみません。あのシールの活用があまりわかりませんでした。
- ⑫ 普段学校には国語科の職員は一名しかおらず、複数の先生方と協議できること自体が新鮮で、学びの多い時間となりました。授業を通して意見交換しながら、お互いの困り感も共有していただいていたことがたかかったです。

(7) 講演に関して（ご意見 ご感想がありましたらお書きください）

- ① とても面白く、ワクワクしました。
- ② 素晴らしい また鹿児島に来ていただきたい
- ③ 最新の情報で大変勉強になった。
- ④ 私も数年前まで奈良県教職員だったので、鹿児島と奈良の教育的な繋がりを感じられて良かった。次期学習指導要領がどんなものか楽しみなうえ、AIを活用した国語教育、情報交換教育に今後も力を入れていきたい。
- ⑤ はっとすることがたくさんありました。ありがとうございます。
- ⑥ とてもテンポがよく、話の内容も分かりやすく、何より、内なる意欲をかけ立てられました！これからの指導に生かしていきたいと思います。
- ⑦ 興味深い内容や、最先端の考え方 DXの考え方など、私が勉強不足であることを痛感させられたと同時に多くの学びを得ることができて、本当に有意義な時間を過ごすことができた。
- ⑧ 敬遠してしまっていた ICT活用や情報教育と国語、ことばのつながりを感じる事ができました。様々な情報が飛び交う時代の中で、ことばを受け取る力、伝える力が重要

であること、それらを育てる国語教育の重要性を小崎先生のお話で楽しく学ばせていただきました。

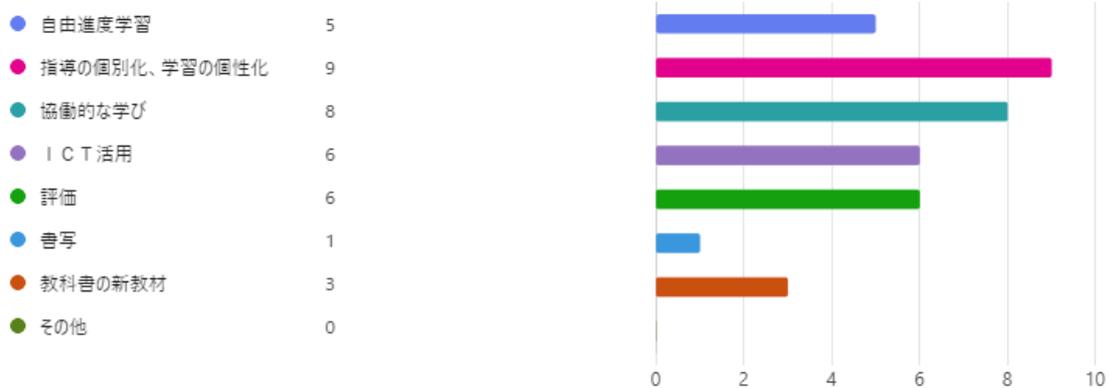
ずっとこうしてきたから、こういうものだからと指導を進めるのではなく、指導者自身が「そもそもどうなのか」と疑問を持ち、指導をしていくことを大切にしていきたいです。また、聞く力を育てるために、発表のあと聞き手の意見を引き出すという発想はなかったなので、これから実践していきたいと思います。大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。

- ⑨ 国語科の可能性を照らしてくれるありがたく、愉快でもっと聞きたくなるお話でした。ありがとうございました。
- ⑩ 新たな視点で国語科について考えることができました。
- ⑪ とてもいい公演でした。聞いて良かったです。「人間にとって最高のツールはことば」であると言われていたことが一番印象に残りました。
- ⑫ 「ものを伝えるのは受け手がすべて」という言葉が心に残っています。
- ⑬ これまでたくさんの講演を聞いてきましたが、こんなに時間が早く過ぎた講演はありません。もっと聞いていたいと思う、濃密な時間となりました。特に、情報を受け取る側の力の養成、聞く力を養うということについてなるほど強く思いました。情報の時代だからこそ、「ことば」を大切にする。これまでもこれからも、国語教育の重要性を再認識させていただきました。

(8) その他（ご意見 ご感想がありましたらお書きください）

- ① 素敵な時間を、ありがとうございました。
- ② 大変勉強になり、色々考えさせられました。
- ③ 準備をしてくださった先生方、ありがとうございました。
- ④ お忙しい中、ありがとうございました。大変勉強になりました。
- ⑤ 時代遅れの教師なので、「書く」作業にはこだわって、国語嫌いな生徒を増やしていきたいと思います。老兵は去りますが、国語科教師の皆さんのご活躍をお祈りいたします。今日はありがとうございました🙏
- ⑥ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ⑦ とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ⑧ 初めて県中学校国語教育研究大会に参加いたしました。チームワークの良さをすごく感じました。同じ国語科教員として学ぶことが多すぎて、自分の未熟さを痛感しました。今後も研鑽を積んでいくしかないと感じました。初対面の先生ばかりで緊張しましたが、温かく受け入れてくださり本当に嬉しかったです。参加して良かったと心から思いました。私はただ参加するだけの立場でしたが、この大会に関わったすべての方に感謝申し上げます。

(9) 来年度以降、夏季研修会や県大会で取り上げて欲しい項目にチェックを入れてください。



(10) (9)「その他」に関して具体的にお書きください。

学習の個別化に対する評価の在り方について学びたいと思っています。例えば、個別最適な学びの場合、どのような過程を経たかの経過ではなく結果をもって評価するのかということです。それぞれが自分にあった学びを選択しているので、それを評価する基準や評価時間の確保など学びたいです。

総括

「個別最適な学習」に対してどのような単元づくりを行うのか、という共通課題に対して解決の例を示し、協議することができた大会であった。

今年度は「わたしの課題」を設定することや、解決の方法例をいくつか示して生徒に選択させる学習方略に関すること、「メタ認知スケール」「リフレクションシート」などによる振り返りなど、前年度から引き継いできたことをさらに深化発展することができた。

「初任3年目の方が提供して下さったと聞き、びっくりした。」とのアンケートにもあるように、武石教諭の指導のもと、生徒がじっくりとテキストに向き合ったり、疑問に思うことを話し合ったりする姿が印象的であった。

また、指導助言において「ルーブリックなど評価」について今後の研究を深めるよう指摘があった。個別最適な学習において、学習目標の達成度合いを判断するために、評価の観点と評価の尺度を可視化していく工夫が今後求められる。

研究協議においては、「離島だからこそ小規模校の先生方ともお話することができ、色々な視点から意見交換ができた」とあるように、活発な意見交換が行われた。しかし、「自由進度学習は前例も少なく未知数で、多くの教員が恐怖心を持っているがゆえに、あまり有益な話し合いに発展しなかった」との意見があるように、実践経験をもった教員が各班に配置

されるような工夫も必要であると感じた。

講演では、これからの教育における確かな視座をいただくことができた。「情報教育と国語、ことばのつながりを感じることができました」と感想にもあるように、ICTを使うことに拘るのではなく、今という時代を捉えた上で「ことば」を軸にしたこれからの国語教育を考えていかなければならないだろう。

来年度研究に望むものとして、「令和の日本型教育における指導の個別化、学習の個性化」をとりあげる意見が多く挙げられた。「自由進度学習」は手法の一つであるので、来年度以降は「指導の個別化、学習の個性化」、「個別最適な学び」といった視点で幅広い授業実践に視点を広げる必要性を感じる。さらに、「個別最適な学び」における評価についても研修を深めたい。



本時の板書